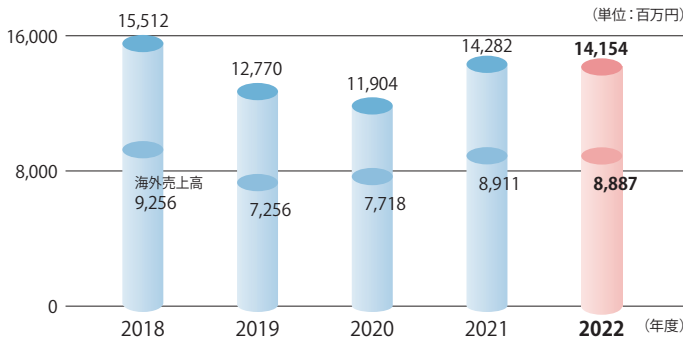


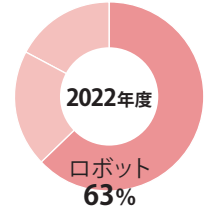
品目別売上高

ロボット



- 前期比128百万円減(0.9%減)の14,154百万円となりました。
- 北米・韓国・タイでの販売が堅調な一方、中国ではロックダウンに伴う市況減速の影響がありました。

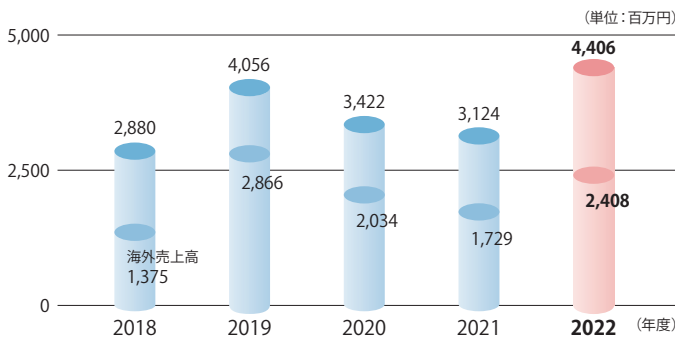
売上高構成比



今後の成長戦略

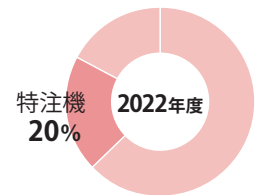
地域特性、業種特性に応じた商品開発を継続してまいります。環境負荷を低減する商品の開発にもより一層取り組み、主力の取出口ロボットの付加価値向上を図ってまいります。また2020年発売のパレタイジングロボットを通じて、プラスチック業界以外への商品展開も図ってまいります。

特注機



- 前期比1,281百万円増(41.0%増)の4,406百万円となりました。
- 欧州での医療向け販売が伸び、また日本や北米においても販売が堅調に推移しました。

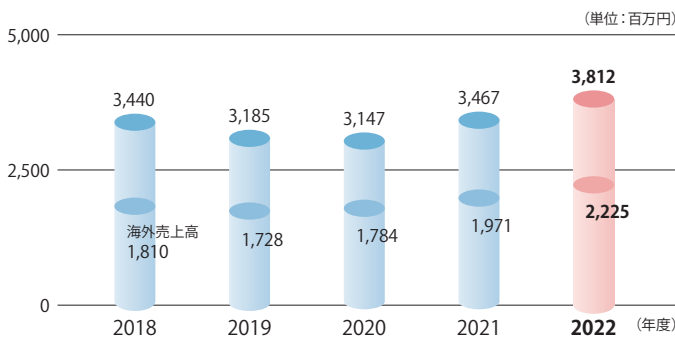
売上高構成比



今後の成長戦略

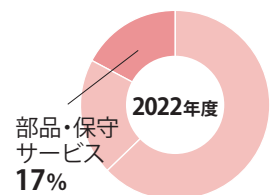
人手不足により、国内外において自動化ニーズがより一層高まっています。引き続き、取出口ロボットとシナジーのある特注機(システム案件)に注力し、お客様にとってメリットのあるソリューション提供をしてまいります。

部品・保守サービス



- 前期比345百万円増(10.0%増)の3,812百万円となりました。
- グローバルでの稼働台数増加に伴い、売上が増加しました。

売上高構成比



今後の成長戦略

他社との競争優位性の一つに、業界一の拠点網が挙げられます。今後も引き続き、グローバル展開を支える人財の確保・育成に注力し、全世界での質の高いサービス展開を図ってまいります。